

FPU Press Release

福井県立大学からのお知らせ

令和8年2月27日

報道機関各位

問合せ先
地域連携センター
教授 國崎 大恩
電話 0776-61-6000(代表) (内線 2407)

【命を守るのは、きっとヘルメット】

県内公立高校必須化まで残り1ヶ月、大学生が挑んだ1年間の啓発活動を報告

-福井県立大学×越前市×大野市による自転車ヘルメット着用啓発プロジェクト成果報告-

福井県立大学・越前市・大野市の三者は、2025年度に実施した「自転車ヘルメット着用啓発プロジェクト」の成果について、2026年3月6日(金)に記者発表を行います。

自転車事故による死亡の約半数は「頭部損傷」が原因と言われており、2026年4月からは福井県内の公立高校でヘルメット着用が自転車通学許可条件として必須化されます。

この大きな転換期を前に、福井県立大学の教職課程を履修する4名の学生が立ち上がりました。学生たちは越前市・大野市のイベントや学校現場において、自身の事故体験の講話や、視覚的に訴えかける「水風船を使った衝撃吸収実験」を展開し、延べ200組以上の親子・市民、および大野市内の中学校・高等学校の生徒に対し、生命を守るための直接的な訴求を行いました。

必須化まで残り1ヶ月。大学と行政が一体となって進めてきた「命を守るプロジェクト」の1年間の成果を、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

記

日時	2026年3月6日(金) 11時00分~12時00分
場所	福井県立大学 永平寺キャンパス 地域経済研究所1階 企業交流室
内容	1. 活動報告:水風船実験動画を交えた1年間の成果発表 2. 学生による自転車事故体験談と啓発メッセージ 3. 質疑応答・個別取材
出席者	・福井県立大学 学生プロジェクトチーム 内田奏太朗 東山典嗣 佐々木凜 細川心暖 ・越前市役所 総務部防災危機管理課 担当者 ・大野市役所 地域づくり部市民生活・統計課 担当者 ・福井県立大学 地域連携センター教授 國崎大恩

【本件のニュースバリュー】

時事性:2026年4月の「高校における必須化」まで残り1ヶ月

社会性:自転車事故死の約半数が頭部損傷という深刻な社会課題への取り組み

独自性:事故体験を持つ大学生という「当事者」によるピアエデュケーションモデル



ヘルメット効果実験の様子



福井県立大学
Fukui Prefectural University